

## 第2回新型コロナウイルスワクチン接種体制確保推進会議

日時：令和3(2021)年3月5日(金) 19:00～

場所：栃木県庁本館6階大会議室2

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ

#### 3 議 事

- (1) 新型コロナウイルスワクチンの医療従事者の先行接種について
- (2) 新型コロナウイルスワクチンの医療従事者等の優先接種について
- (3) 新型コロナウイルスワクチンの高齢者の優先接種について
- (4) 県のワクチン接種に関する情報発信及び相談体制について
- (5) 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る県の取組状況について
- (6) その他

#### 4 閉 会



## 出席者名簿

(敬称略・順不同)

## ○ 委員

No.	氏名	推薦団体名	役職等	備考
1	浅井 秀実	栃木県医師会 (感染症)	副会長	
2	小沼 一郎	栃木県医師会 (学校保健)	副会長	
3	福田 晴美	栃木県医師会 (広報)	常任理事	
4	長谷川 親太郎	栃木県病院協会	会長	
5	金子 達	宇都宮市医師会	副会長	
6	伊藤 直実	上都賀郡市医師会	理事	
7	松本 一宏	下都賀郡市医師会	理事	
8	佐藤 慎	小山地区医師会	理事	
9	北川 英子	佐野市医師会	常任理事	
10	中村 暢男	足利市医師会	理事	
11	(代) 尾形新一郎	塩谷郡市医師会	会長	
12	吉成 仁見	那須郡市医師会	理事	
13	水沼 洋文	南那須医師会	理事	
14	横田 徳継	芳賀郡市医師会	理事	
15	森澤 雄司	自治医科大学附属病院	感染制御部長	
16	阿久津 郁夫	那須赤十字病院	副院長	
17	(代) 別井 一之	とちぎメディカルセンターしもつが	感染対策室長	
18	田村 明彦	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター	副院長	
19	杉田 義博	日光市民病院	管理者	
20	井上 卓	佐野厚生総合病院	副院長	
21	佐藤 寛文	芳賀赤十字病院	第二外科部長兼感染対策室長	
22	越川 千秋	栃木県薬剤師会	副会長	
23	小林 孝徳	栃木県医薬品卸協会	会長	
24	朝野 春美	栃木県看護協会	会長	
25	齋藤 由利子	栃木県看護協会	理事	欠席

## ○ オブザーバー

No.	氏名	推薦団体名	役職等	備考
1	水沼 忠雄	栃木県市長会	事務局長	
2	野澤 敏光	栃木県町村会	事務局長	
3	岡部 太郎	済生会宇都宮病院	診療部 医師	
4	小倉 崇以	済生会宇都宮病院	栃木県救命救急センター長	
5	窪田 敬一	獨協医科大学病院	病院長	
6	麻生 好正	獨協医科大学病院	副院長・感染制御センター長	
7	大野 克夫	栃木県歯科医師会	専務理事	
8	中丸 朗	栃木県病院薬剤師会	会長	

## ○ 事務局

No.	氏名	推薦団体名	役職等	備考
1	海老名 英治	栃木県保健福祉部	部長	
2	小川 俊彦	栃木県保健福祉部	次長兼保健福祉課長	
3	関本 充博	栃木県保健福祉部	次長	
4	加藤 治	栃木県保健福祉部薬務課	課長	
5	柏瀬 仁	栃木県保健福祉部健康増進課	課長	
6	林 恭子	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	室長	
7	樋口 正幸	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	課長補佐	
8	人見 美子	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	副主幹	
9	小林 由典	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	主幹（ワクチン接種対策チーム）	
10	小島 敏	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	主幹（ワクチン接種対策チーム）	
11	篠崎 邦夫	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	副主幹（ワクチン接種対策チーム）	
12	長谷 恵子	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	副主幹（ワクチン接種対策チーム）	
13	増子 文子	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	副主幹（ワクチン接種対策チーム）	
14	玉田 浩之	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	係長（ワクチン接種対策チーム）	
15	太田 翔	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	主査（ワクチン接種対策チーム）	
16	伊藤 哲也	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	主査（ワクチン接種対策チーム）	
17	姫野 祥平	栃木県保健福祉部健康増進課感染症対策室	主事（ワクチン接種対策チーム）	
18	早川 貴裕	県西健康福祉センター	所長補佐兼健康対策課長	
19	渡辺 真美子	県東健康福祉センター	主査	
21	関川 知也	県南健康福祉センター	主査	
22	松本 絵里	県南健康福祉センター	主査	
23	西山 浩一	宇都宮市保健予防課コロナウイルスワクチン接種実施本部	副主幹	

# 資料 1

## 「医療従事者への先行接種」について

### 【概要】

- 広く住民等への接種開始前に、国が被接種者に対して接種後約1か月の健康調査を実施し、当該結果の公表を通じて各個人が接種の判断を行う際の参考情報とすることを目的に、全国100医療機関の医療従事者（約4万人）に先行的に接種を行うもの。
- 栃木県内では、独立行政法人国立病院機構宇都宮病院に所属する医療従事者（約400人）が先行接種の対象とされている。
- 接種が開始された令和3年2月17日以降、3月4日までに延べ39,174回の接種が実施されている。
- これまでに国へ報告があった副反応疑いの事例（公表事例に限る）は計4件で、うち死亡が1件、皮膚等のアレルギー反応・悪寒・発熱等が3件となっており、いずれもワクチン接種との因果関係は明らかにされていない。

### 全国での接種実績（国公表内容）

日付	接種回数	うちNHO宇都宮病院
2月17日（水）	125回	
2月18日（木）	486回	
2月19日（金）	4,428回	6回
2月21日（月）	6,895回	
2月24日（水）	5,954回	
2月25日（木）	4,008回	201回
2月26日（金）	6,634回	193回
3月1日（月）	3,255回	
3月2日（火）	2,987回	
3月3日（水）	2,531回	
3月4日（木）	1,871回	
合計	39,174回	400回

（※）当該日付までに接種実績のある施設数

注1：土・日・祝日の接種回数は、次の平日に合算のうえ計上

注2：各接種施設がV-SYSで報告した接種回数を集計（各日17時時点）

### これまでに報告された副反応疑い報告事例（国公表内容）

年齢性別	国に報告があった症状	基礎疾患等	接種日 発生日 転帰日
—	皮膚及び口腔内のアレルギー反応	食物アレルギー	2月19日 2月19日 2月19日（回復）
47歳 女性	冷感・悪寒戦慄	神経線維腫症	2月19日 2月19日 2月20日（回復）
40歳 女性	脱力（手足が上がらない）、発熱	なし	2月22日 2月22日 2月23日（回復）
60代 女性	死亡 【死因（推定）：くも膜下出血（※）】	なし	2月26日 3月1日 3月1日（死亡）

（※）海外における接種事例においても、新型コロナウイルスワクチンと

— 1 — くも膜下出血との間に関連があるとの知見は確認されていない。

\* アナフィラキシーの発生があったとの報告はなされていない。

# 新型コロナウイルスワクチンの医療従事者等向け優先接種に係るワクチン配分（第1弾・1回目接種分）について

## 【概要】

医療従事者等向け優先接種に係るワクチンの配分に関し、厚生労働省から「医療従事者等向け接種を実施するための新型コロナウイルスワクチンの出荷（第1弾）について」（令和3年2月19日付厚生労働省健康局健康課予防接種室事務連絡）が各都道府県宛てに発出され、以下のことが示された。

- 第1弾として、全国合計で1,000箱（1箱＝195バイアル）を前半（3/1の週）と後半（3/8の週）に分けて出荷することとし、栃木県に対しては14箱（前半7箱、後半7箱）を出荷する。

**資料2**

⇒ 2月24日（水）までに、前半・後半それぞれの配送先及び配送箱数を国へ報告

（※）2回接種のうち1回目接種分を念頭に置いたものであり、2回目接種分については、3週間後（3月22日の週と3月29日の週）に今回報告と同様の配送先へ同様の配送箱数が出荷される。

- 第2弾以降については、供給量を踏まえて、追って国から同様の案内がある予定。

## 【医療従事者等向け優先接種のスケジュール（イメージ）】

		3/1の週 (3/4、3/5)	3/8の週 (3/7-3/13)	3/15の週 (3/14-3/20)	3/22の週 (3/21-3/28)	3/29の週 (3/28-4/3)	4/5の週 (4/4-4/10)	4/12の週 (4/11-4/17)	4/19の週 (4/18-4/24)	4/26の週 (4/25-5/1)	
第1弾	1回目接種分	7箱配送 (前半分)	接種								
			7箱配送 (後半分)	接種							
第1弾	2回目接種分				7箱配送 (前半分)	接種					
						7箱配送 (後半分)	接種				
第2弾 以降	- 2 未 定										

# 医療従事者等向け優先接種に係るワクチン配分（第1弾・1回目接種分）の考え方について

## 【国から提示のあった栃木県への配分量】

3月1日の週→7箱、3月8日の週→7箱、合計→14箱（13,650回接種分＝14箱×195バイアル×5回接種）

（※）栃木県内の全ての医療従事者等に対して2回接種を完了するためには、約150箱の配分が必要

## 【配分の基本的な考え方】

地域（二次医療圏単位、郡市単位、市町単位）のバランスに配慮しつつ、「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について」（令和3年2月9日政府決定）における医療従事者等に早期に接種を実施する理由（※）を踏まえ、新型コロナウイルス感染症患者（以下「患者」という。）の入院を受け入れる医療機関などに所属する医療従事者等に対して接種を実施する施設（連携型接種施設である場合は、ワクチン分配元の基本型接種施設）に優先的に配分する。

（※）・業務の特性として、新型コロナウイルス感染症患者や多くの疑い患者と頻繁に接する業務を行うことから、新型コロナウイルスへの曝露の機会が極めて多いこと。

・医療従事者等の発症及び重症化リスクの軽減は、医療提供体制の確保のために必要であること

## 【3月1日の週の配分の考え方】

- ① 患者の入院受入医療機関のうち、主に重症患者を受け入れる医療機関の医療従事者等に対して接種を実施する施設に各1箱を配分
- ② 地域バランスの観点から、①で配分がなかった二次医療圏に各1箱を割り当てた上で、各二次医療圏内の医療機関のうち、受入患者累計数の多い医療機関などの医療従事者等に対して接種を実施する施設に各1箱を配分

## 【3月8日の週の配分の考え方】

- ① 地域バランスの観点から、3月1日の週の配分がなかった郡市に各1箱を割り当てた上で、各郡市内の医療機関のうち、受入患者累計数の多い医療機関などの医療従事者等に対して接種を実施する施設に各1箱を配分
- ② 全県単位で、受入患者累計数の多い医療機関などの医療従事者等に対して接種を実施する施設に各1箱を配分

※3月1日の週及び8日の週分を合わせて、19医療機関に配分予定

## 【概要】

- 高齢者向け優先接種については、令和3年4月26日の週に全市町村へワクチンが1箱ずつ配送され次第、本格的に開始される予定。
- 4月26日の週以降の本格接種に先立ち、まずは4月5日の週から4月19日の週にかけて数量を限定したワクチンを配送したうえで、4月12日から全国の一部市町村で、ワクチンの発注や接種実績の登録等の段取りをあらかじめ確認するための試行的な接種を実施することとされた。

接種区分	配送時期	配送箱数（2回接種分）	
		栃木県	【参考】全国総計
本格接種(※)	令和3年4月26日の週	25箱（全市町に各1箱）	約1,700箱（全市町村に各1箱）
試行的な接種	令和3年4月5日の週	2箱（975人×2回）	100箱（48,750人×2回）
	令和3年4月12日の週	10箱（4,875人×2回）	500箱（243,750人×2回）
	令和3年4月19日の週	10箱（4,875人×2回）	500箱（243,750人×2回）
	計	22箱（10,725人×2回）	1,100箱（536,250人×2回）

(※)

国によると、全高齢者（全国約3,600万人、県内約55.4万人）への2回接種に必要なワクチンは、6月末までにかけて、順次配送予定とのこと。

## 【高齢者向け優先接種のスケジュール（イメージ）】

	3/8週 (3/7-3/13)	3/15週 (3/14-3/20)	3/22週 (3/21-3/28)	3/29週 (3/28-4/3)	4/5週 (4/4-4/10)	4/12週 (4/11-4/17)	4/19週 (4/18-4/24)	4/26週 (4/25-5/1)	5/3週 (5/2-5/8)	5/10週 (5/9-5/15)	5/17週 (5/16-5/22)	5/24週～ (5/23～)
本格接種								25箱配送	順次配付			
								接種（2回）				
試行的な接種	3/11 配送先報告(県→国) ★				2箱配送	1回目接種		2回目接種				
	未定 配送先報告(県→国)	★				10箱配送	1回目接種		2回目接種			
		未定 配送先報告(県→国) ★					10箱配送	1回目接種		2回目接種		



# 高齢者向け優先接種に係る各市町へのワクチン配分の考え方について

## 【配分の基本的な考え方】

高齢者(65歳以上)人口が多い市町へ優先的に配分することを基本としつつ、各市町における接種の進捗状況等も考慮のうえ、各市町ごとの配分量を決定していく。(※) 令和3年4月26日の週には、全市町に1箱ずつが配送される予定

## 【4月5日の週から4月19日の週における各市町への配分(案)】

全国一律で住民接種が本格的に開始される前に、限定した接種回数の中でワクチンの配送、会場運営、接種記録のシステム登録など一連のプロセスを確認するとともに、各市町間や郡市内でそこから得られた課題や教訓等の検証・共有等を通じて高齢者向け優先接種の円滑な実施につなげることが期待されることから、高齢者人口に重点を置きつつ、県内すべての各郡市医師会(10か所)で確実に接種機会を確保できるよう、以下により、配分先の市町を決定することとしたい。

① 高齢者人口が最も多い宇都宮市に、4月5日の週分(2箱)を配分

② 各郡市単位で、高齢者人口が多い上位5市町(郡市)に4月12日の週分(各2箱・計10箱)を配分し、これに続いて高齢者人口が多い5市町(郡市)に4月19日の週分(各2箱・計10箱)を配分

(※) 宇都宮市へは、①で4月5日の週分を配分しているため、②では4月19日の週分を配分

郡市医師会	上都賀	芳賀	下都賀	小山	塩谷	南那須	那須	足利	佐野	宇都宮
4月5日の週 (計2箱)										宇都宮市 (2箱)
4月12日の週 (計10箱)			栃木市 (2箱)	小山市 (2箱)			那須塩原市 (2箱)	足利市 (2箱)	佐野市 (2箱)	
4月19日の週 (計10箱)	鹿沼市 (2箱)	真岡市 (2箱)			さくら市 (2箱)	那須烏山市 (2箱)				宇都宮市 (2箱)

## 【各郡市医師会へのお願い】

今回ワクチンを配分した各市町では、それぞれ整備する接種体制の状況を踏まえて、ワクチン量が限定された中での接種対象者や接種方法、地域内での課題等の共有方法等を検討していくことから、その検討に当たり各市町から相談・協議等がございましたら、引き続き御協力のほどお願いいたします。

## 新型コロナウイルスワクチン接種の情報発信・相談体制について

## 1 周知・広報

ホームページ、広報紙等の様々な広報媒体を活用し、ワクチンの有効性・安全性、接種順位、接種を受けるための手続き、相談窓口等について、必要な情報を県民に周知している。

## (1) これまでの取組

- ・令和3(2021)年2月5日 ワクチン接種に関するホームページを開設
- ・令和3(2021)年2月14日 県民だよりで広報

## (2) 今後の対応予定

- ・令和3(2021)年3月7日 県民だよりで広報
- ・3月中 ポスターの作成・配布

※今後とも、市町と連携しながら、ホームページ、広報紙等の様々な広報媒体を活用し、必要な情報を県民に周知していく。

## 2 コールセンター

## (1) 概要

- ・名称：「受診・ワクチン相談センター」

※新型コロナウイルス感染症に関するコールセンターである「受診・相談センター」において、ワクチン接種に関する専門的相談等も受け付けることとし、名称を「受診・ワクチン相談センター」に変更する。

- ・電話番号：0570-052-092
- ・対応時間：24時間（土日、祝日を含む毎日）

※新型コロナウイルスワクチン接種に関する専門的相談については、9:00～21:00（土日、祝日を含む毎日）

- ・開設日：令和3(2021)年3月1日（月）

## (2) 相談役割分担

- ・市町：受付、接種手続等に関する一般相談対応
- ・県：医学的知見が必要となる専門的な相談対応（接種後の副反応に係る相談等）
- ・国：新型コロナウイルスワクチン全般への対応

※ワクチン接種に関する基礎的な情報は全ての窓口で対応する。

# 資料5 新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る栃木県の取組状況（まとめ）

## 栃木県における取組状況

	これまでの取組	今後の取組予定（想定）
①人的体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新型コロナウイルス感染症対策本部内に「ワクチン接種対策チーム(8人)」を設置【R3. 1. 14】</li> </ul>	(業務量に応じて、適宜見直し)
②広域調整・市町村支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保推進会議（以下「推進会議」）の開催【R3. 2. 4、3. 5】</li> <li>▶ 市町長会議・副市町長会議の開催【R3. 1. 5、3. 4】</li> <li>▶ 県・市町連携会議の開催【R2. 12. 24、R3. 1. 29、3. 2】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 推進会議の開催【四半期に1回目途】</li> <li>▶ 市町長会議、県・市町連携会議の開催【適宜】</li> </ul>
③ワクチン等の流通調整の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域担当卸を決定【R3. 1. 22】</li> <li>(※)卸業者・医師会との事前調整【R3. 1. 12～21】</li> <li>▶ 医療従事者等・高齢者向け優先接種に係る各接種施設・市町へのワクチン配分基準の検討【R3. 2下旬～】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国からの配分量を踏まえた各接種施設・市町への配分量の検討【随時】</li> </ul>
④医療従事者等への接種体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 県内108施設（基本型：23施設、連携型：85施設）の接種会場を確保【～R3. 2. 1】</li> <li>▶ 接種予定人数の把握、接種予定者リストの作成【R3. 1. 15～】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 接種券付き予診票の出力、接種予定者への配付（基本型・連携型接種施設の自院接種者を除く）【～R3. 3中旬】</li> </ul>
⑤専門的相談体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 受診・ワクチン相談センター（電話相談窓口）の運用開始【R3. 3. 1～】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 副反応に係る専門的医療機関の確保【～R3. 3中旬】</li> </ul>
⑥県民等への周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 県HP内にワクチン専用ページを開設【R3. 2. 5～】</li> <li>▶ 「県民だより」の発行【R3. 2. 14】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 啓発用ポスターの作成・配付【～R3. 3下旬】</li> <li>▶ 「県民だより」の発行【R3. 3. 7、以降随時】</li> <li>(その他、メディアやSNS等を活用した周知等の実施も検討)</li> </ul>